

検証

「マニフェスト」の検証。3年前の選挙で、私が皆様とお約束した11の公約！この三年間で何をしたのか、何が出来なかったのかを検証しました。



自然景観を将来にわたり守る

■ひらふスキー場など倶知安町独自の景観条例制定

自然と共存できる開発行為のルールを決めて、従来の要綱をより実効力のある景観条例とし、みんなが安心して快適に過ごせる個性豊かな地域整備を推進

検証・景観条例が出来ましたが、多くの専門家の意見を聞き、高度な次世代への配慮が必要でした。今後、自分勝手なルールの変更などは許されません

■観光産業の基盤整備⇒注目を経て、安定期から成長期へと発展させる各種施策の推進

■尻別川リバーパーク(遊歩道整備の推進)⇒既存公園の利用拡大に向け雑木の整理を実施し、清流の流れに沿った散策道をひらふ地区まで安全に歩いて行けるように空間確保と並木道の実現

・財政状況を勘案しつつ下水道整備事業の拡大⇒高砂地区などの下水道を整備して、川など自然への負荷軽減

検証・エコとウォーキングなどを考えるとこれからの観光の目玉にもなります。残り一年の懸命な宿題です

自然を身近に感じるスポーツの振興

■町のシンボル、旭ヶ丘周辺の振興⇒冬は旭ヶ丘スキー場へ、夏はパークゴルフ場へだれでも手軽に行けるように、夏冬を通しての連絡ミニバスの運行など、スポーツを身近に感じることでできるまちづくりの推進！

検証・昨年度実証実験を行いました。倶知安町民はバスを使う習慣がないのと、福祉ハイヤーとの併合が利用する人が少なくする原因です。今年は検証し利用促進策が必要です。

商店街主導による活性化への取り組みを推進

■街を元気にするにはまずは商店街から

お客さん、商人そして社会が喜ぶ商店街の創造と、人が集まる仕組みづくりのための商店街活性化事業へソフト・ハードの助成金確保！

検証

私のこの三年間で、商店街も随分変化化したと思います。商店街連合会の活動もPLATを中心に着実に進んでいます。町の助成としてのプレミアム商品券も大きな起爆材になっています。今後はお客さんに便利な商店街の集約化などを図るべきです。



U・J・Iターンの推進

■倶知安の多彩な魅力を発信して積極的に定住促進

倶知安出身者が自然豊かな地元へ戻るUターン、さまざまな土地に住みふるさとのよさを見直して帰ってくるJターン、農業がやりたくて都会を脱出してくるIターンなどの支援強化と受け入れ体制の整備

検証・定住人口増加のための情報発信は少ないと考えます。ひらふには大変優秀な若者も来ていますが、住宅・職の問題など…優秀な人材の確保は、定年者の再就職と併せて考える事も必要です。持家住宅促進などの総合的な政策も必要です

安全・安心のまちづくりの推進

■町民安全の確保拡充⇒近隣町村との広域緊急時協定締結の促進

■緊急時の救命手段の充実⇒AED(自動体外式除細動器)の設置増設と講習会への参加促進

■震災への備えの徹底⇒耐震診断促進施策(補助金の新設、耐震・耐火工法への振興補助制限の緩和)

■子どもたちの登下校時や夜間の安全対策強化⇒安全・安心パトロールの強化(役場と奉仕団体の協力体制の確立など)

■全町の防災マップ、防犯マップの点検と作成⇒現状に合った情報の提示により町民の安全と安心を強化

検証

ひらふには関係者の努力で、「ひらふ安全センター」が設置され、臨時交番は観光客の安全確保され喜んでいきます。災害時の通報連絡手段がなく今後の課題であります。民間によるFM放送局の開局の利用、併せて、ラジオの不感地帯の解消などを働きかけます。



ごみのない美しいまちづくりの推進

■努力する人が報われる方法の追求⇒分別したら安くなる戸別収集の実現

■町税を費やさないリサイクルの推進⇒町が事業者には排出者責任での回収を徹底指導(事業者からのリサイクルできるものは町で受け入れ)

■清掃費の削減と経費の検証⇒清掃費削減策の遂行、生ごみの焼却の検討(多額の税金を費やしている清掃費の削減には、ごみの減量化に真剣に取り組むことが必要。スーパーマーケットから出るトレーなどのごみはスーパーマーケットに戻し、手提げ袋持参でレジ袋が不要とすることにより減量化)

検証

リサイクルセンターは前町長からの偉大なる遺産で、本当に良く利用されています。北地区にもう一か所倉庫等を利用して設置などの検討すべきだと思います。ごみの焼却施設は廃止して資源化・燃料化の方針で検討されています。自然にやさしいエコな政策を推進！

子どもたちの健やかな成長のために

- 幼稚園就園奨励金の拡大⇒少子化対策として、保護者の負担軽減
- 保育所の施設整備⇒民間活力の導入推進による老朽化した保育所施設の整備を進め保育費軽減
- 子育て支援の充実⇒子育て支援センターの充実とファミリーサポートセンターとしての保健福祉会館の充実
- 乳幼児保育の充実により働く母親支援⇒0歳から2歳児までの保育所の枠拡大、一時保育と延長保育の実施

検証

保育所の改築とあわせて0歳児の枠拡大は、今後積極的に働きかけます。子育て支援センターの時間延長など皆さんの要望に近づきました。

高齢者や障がい者が 生き生きと暮らすために

- 高齢者負担の軽減⇒きめ細やかな配食サービスの充実(対象範囲の拡大)
- 高齢者・障がい者の移動手段の確保⇒福祉バスの運行などで交通不便地の解消
- 障がい者負担の軽減⇒¹⁾ 障害者自立支援法による負担の増大を緩和するための町費補助の実施
・ 公共施設での働く場提供⇒生きがいを感じる社会参加の促進

検証

福祉バス等については、お年寄りがバスは便利だの環境整備が大切です。福祉ハイヤー・障害者ハイヤーに変わるバスとするのか、観光にも通学にも使うのか、まずそこからの整理が大切です。

児童・生徒が伸び伸びと 学習できるために

- 特色ある里山学校(樺山分校)の存続と整備⇒自然との触れ合いを通じて教育推進ができる学校
- スクールカウンセラーの拡充⇒子ども相談員事業を充実していじめの撲滅
- インテリジェントティーチャーの拡充⇒民間から導入した教員による、活力と特色ある教育や楽しい学校づくりの推進
- 学校の施設改善を整備促進⇒当面、耐震強度の問題を早期解消して、安心して勉強できる環境を整備推進

検証
樺山の耐久化整備は済みましたが、近代的な学校機能は果たすまでにはなっていませんが、それが樺山の里山学校の特徴だと思います。一定の入学希望者のあるかぎり樺山分校は存続されるべきです。インテリジェントティーチャーの拡充については機会あるたびに言い続けていますが、受け入れる教職員側に異論がなければ簡単だと思うのです。耐震については早期着工で頑張り、子供たちの安全を最優先しました。

発達につまずいたお子さんの 一貫した支援体制づくり

- 軽度発達障がい児に対する支援強化⇒俱知安町の「ようてい作業所」等は、多くの方の努力で軽度発達障がいのあるお子さんへの優れた早期の療育を実施していますが、今後、施設の充実と関係機関の連携強化が課題であり、町議会厚生文教委員としての長い経験を生かし、一貫した支援体制づくりを確立

検証

障害のある方への支援体制は、決して満足とは言えず、私も反省をしています。

民間施設との連携の中で、行政としての責任を果たすべきです。この一年間積極的に取り組んでまいります。

加の促進

タウンダイヤモンドバス
(自由乗降車予約バス)の研究

- タウンダイヤモンドバス⇒高齢者、障がい者が随時呼び出し予約できる小型バスが「タウンダイヤモンド」
- 抜本的解決策として⇒俱知安町の交通不便地解消策は、町内路線バスの未整備対策として、高齢者、障がい者には福祉ハイヤーなどで対応、しかし、抜本的には未解決
- 検討・研究を推進⇒高齢者や障がい者の新たな移動手段サポートは、町の重要な福祉施策。困窮する行政財政の中で更に高齢者社会に対応するため、事業展開について研究

